

逆境を乗り越えた今、
新しいアートが動き出す。

LiveS Beyond II

Arts Anytime Anywhere

佐賀県アーツコミッション

第2回

文化 講演会

佐賀県アーツコミッションは、県内外の様々なアーティスト等文化芸術関係者の活動をさらに発展させ、地域づくりに活かしていくために、様々な(モノ・人・場)を繋ぎ、新たな文化シーンを県内各地で創出していきます。

8/8 TUE
会場：佐賀大学
10:30~14:30

アートを学ぶ学生
他一般の方が対象

入場無料※事前申し込み不要

カナダのウィスラーにある「Audain Art Museum(オデイン美術館)」で開催中の池田学氏の個展会場と佐賀大学をオンラインで繋ぎ、ミヅマアートギャラリーの三瀧末雄氏、東光会の金子剛氏を交え、アートに求められる価値について語ってもらいます。

第一部 基調講演&クロストーク

10:30~12:00 会場：佐賀大学大講義室

「アートにとって価値とは何か」

①基調講演

演題「海外のアートマーケットの動きと池田学」

講師：三瀧 末雄氏

ミヅマアートギャラリーエグゼクティブ・ディレクター
佐賀県アーツコミッション アドバイザリーボード委員

②クロストーク

「何を目指し、どう学んでいけばいいのか」

三瀧 末雄氏 ミヅマアートギャラリーエグゼクティブ・ディレクター

金子 剛氏 画家 2017東光展文部科学大臣賞受賞

池田 学氏 画家 カナダの個展会場からオンラインで参加

司会：花田 伸一氏 佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授

第二部 作品講評会

13:00~14:30 会場：佐賀大学美術館

講評/三瀧 末雄氏 & 金子 剛氏

※作品の持ち込みは下記へお問い合わせください。
当日の持ち込みも受付ます。



佐賀県アーツコミッション

第2回

文化講演会

8/8

TUE

会場:佐賀大学

10:30~14:30

Saga Prefecture Arts Commission 2nd Cultural Lecture

三潨 末雄氏

Mizuma Sueo

ミヅマアートギャラリー
エグゼクティブ・ディレクター
佐賀県アーツコミッション
アドバイザリーボード委員



ポートレート:野口博

東京生まれ。成城大学文芸学部卒業

1980年代からギャラリー活動を開始、94年ミヅマアートギャラリーを東京・青山に開廊(現在は市谷田町)。2000年からその活動の幅を海外に広げ、インターナショナルなアートフェアに積極的に参加。日本、アジアの若手作家を中心にその育成、発掘、紹介をし続けている。また、アジアにおけるコンテンポラリーアートマーケットの更なる発展と拡大のため、2008年に北京にMizuma & One Galleryを、2012年にシンガポールのギルマンバックスにMizuma Galleryを開廊。2018年にはニューヨークにMizuma&Kipsを開廊した。毒と批評精神に溢れた作家を世界に紹介するとともに、ジパング展等の展覧会を積極的にキュレーションし、その活動の幅を広げている。これまでに会田誠、山口晃、池田学、宮永愛子などの作家を輩出している。著書に『アートにとって価値とは何か』(幻冬舎刊)、『MIZUMA 手の国の鬼才たち』(求龍堂刊)がある。

池田 学氏

Ikeda Manabu

画家



カナダの個展会場からオンラインで参加

1973年佐賀県多久市生まれ。98年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。卒業制作にて紙に丸ペンを使用した独自の細密技法を確立。2000年同大学院修士課程を修了。2011年より文化庁芸術家在外研修員としてカナダ、バンクーバーに滞在。2013年よりアメリカ、ウィスコンシン州マディソンにあるチェゼン美術館の招聘を受け、滞在制作を行う。圧倒的な細密さと共に、ユニークな感性と創造力溢れる作風で国内外を問わず高い評価を得ている。アメリカ在住。2014年公益信託タカシマヤ文化基金・第25回(平成26年度)タカシマヤ美術賞受賞。2017年「池田学展 The Pen—凝縮の宇宙」佐賀県立美術館、金沢21世紀美術館、日本橋高島屋を巡回。主な書籍に『池田学画集 1』(羽鳥書店刊)、『The Pen』『誕生』が誕生するまで』(青幻舎刊)がある。現在、カナダのAldain Art Museumにて海外初個展を開催中(10月9日まで)。2024年2月にはクリーブランド現代美術館に巡回を予定している。

金子 剛氏

Kaneko Takashi

画家



1939年佐賀県鹿島市に生まれる。1958年佐賀大学特設美術科入学、石本秀雄先生に師事。1962年東光展東光賞受賞、日本美術展初入選。1963年嬉野高校を皮切りに、小城高校、佐賀北高校で美術教育に従事。池田学氏をはじめ多くの画家を育てる。1984年東光展会員賞受賞。2006年佐賀県芸術文化賞受賞。2016年地域文化功労者文部科学大臣賞受賞。2017年第83回東光展「文部科学大臣賞」受賞。2021年金子剛と三十人展、佐賀大学美術館。

花田 伸一氏

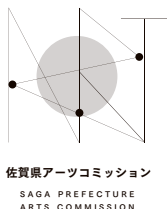
Hanada Shin-ichi

キュレーター

佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授



1972年福岡市生。佐賀市在住。北九州市立美術館学芸員、フリーランスを経て2016年より現職。地域でのアートプロジェクトを多く手がける。主な企画『6th北九州ビエンナーレ〜ことのはじまり』、『街じゅうアート in 北九州2012 ART FOR SHARE』、『ちくごアートファーム計画』、『佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート』。企画協力『第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014』、『釜山ビエンナーレ2014特別展』他。韓国、タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム美術調査。



佐賀県